

大会名称: 第12回全日本社会人バスケットボール選手権大会
兼 第92回天皇杯・第83回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会予選

開催場所: ジップアリーナ岡山 Cコート

試合区分: No. 27 女子 3位決定戦

期 日: 2016(H28)年11月6日(日)

主審: 河野 仁

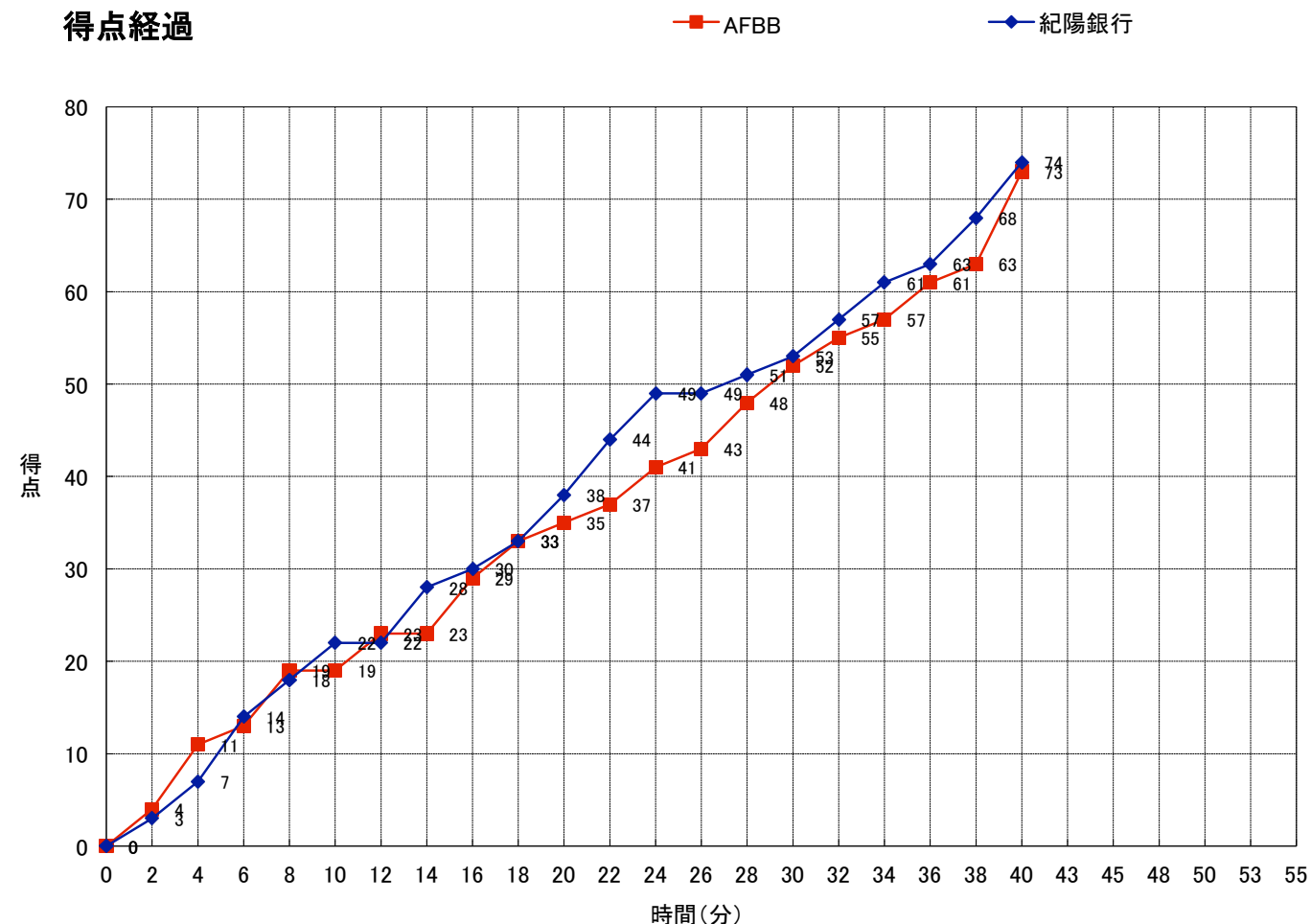
開始時間: 12:50

副審: 井元 誠:村田 尚美

紀陽銀行						○ 74					● 73					AFBB							
(実2・近畿)																(ク1・東京)							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0		神山 幸乃	0	0	0	0	1	2		渋谷 祥子	2	0	1	0	0								
1	*	木工 理恵	6	0	2	2	0	3	*	前田 優香	13	3	2	0	0								
2		米田 真依	-	-	-	-	-	8		八巻 優子	0	0	0	0	0								
3	*	野田 桃香	12	2	3	0	1	9		原田 奈未	-	-	-	-	-								
4	*	唐津 亜耶	16	2	5	0	3	11	*	相原 渚	12	0	5	2	2								
7		青山 詠美	12	0	5	2	1	15	*	梅澤 裕貴	13	1	4	2	1								
9	*	西田 花奈	10	0	5	0	5	20		宮本 美希	0	0	0	0	1								
10		浦本 美希	0	0	0	0	1	21		加藤いずみ	13	1	4	2	3								
11		後藤 美紀	16	2	3	4	3	22		赤阪 理英子	-	-	-	-	-								
12	*	広倉 綾乃	2	0	0	2	0	24	*	滝口 彩奈	10	0	2	6	2								
16		登倉 美幸	0	0	0	0	0	32	*	大野 遥	10	2	2	0	4								
								43		清水 美沙子	-	-	-	-	-								
								77		塩田 真史	-	-	-	-	-								
								81		西山 枝里	-	-	-	-	-								
/ TEAM								/ TEAM															
合計			74	6	23	10	15	合計			73	7	20	12	13								

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

得点経過



ゲームレポート

1P: 立ち上がりすぐAFBBが#15梅澤のゴール下で先制する。すぐさま紀陽銀行#3野田の3ポイントシュートでやり直す。紀陽銀行は#3野田を中心に、AFBBは#15梅澤、#21加藤のインサイドを使ってオフェンスを展開し、一進一退の攻防が続く。1Pは21-19の紀陽銀行リードで終える。

2P: AFBBは3-2のゾーンディフェンスに変える。紀陽銀行は思うように攻められず、タイムアウトをとるも得点が伸びない。一方のAFBBは#3八巻のカットイン、#11相原のフリースローで逆転。紀陽銀行は#4唐津の連続シュートなどで再逆転する。29-23で紀陽銀行がリードした時点でAFBBがタイムアウト。その後AFBBはマンツーマンディフェンスに戻す。ここから、お互い点がとれない時間が約1分間続く。AFBBは#15梅澤、#3前田の連続スリーポイントシュートで1点差に詰め寄る。その後、一進一退の攻防が続き、38-35の紀陽銀行リードで前半終了。

3P: 開始14秒、紀陽銀行#9西田のジャンプシュート、#4唐津のゴール下でリードを7点差に広げる。その後、お互い激しいディフェンスを繰り返す。紀陽銀行#4唐津のゴール下、3ポイントシュートで得点差を10とするが、その後は約3分間得点できず、3人のメンバーチェンジを行う。この間、AFBBは#21加藤、#15梅澤の連続シュート、#3前田の3ポイントシュートで1点差に詰め寄る。しかし、紀陽銀行#7青山のフックシュートやフリースローで5点差まで広げる。AFBBが#21加藤のフリースローで3点差に詰め寄せたところで紀陽銀行のタイムアウト。終了間際にAFBB#20宮本と#15梅澤のピック&ロールが決まり、53-52紀陽銀行リードで3P終了。

4P: 開始早々、AFBB#21加藤の逆転3ポイントシュートで幕を開ける。両者激しいディフェンスの中、紀陽銀行#11後藤を起点とし、紀陽銀行が再逆転する。AFBBはミスが続くタイムアウト。その後、AFBBは#11相原のポストプレイ、#21加藤、#24滝口のジャンプシュート、紀陽銀行は#1木工のフェイスアップシュート、#11後藤の3ポイントシュート、ドライブシュートで得点を重ねる。残り2分を切ったところでAFBB#32大野が3ポイントシュートを決め、2点差に詰め寄るも、紀陽銀行#11後藤から#7青山のピック&ロールで4点差に広げる。残り45秒でAFBB#32大野がドライブシュートを決めるが、紀陽銀行#7青山が難しいシュートをねじ込んで72-68。AFBBがタイムアウト。AFBB#32大野がシュートを決め望みをつなぐ。紀陽銀行がタイムアウト。紀陽銀行#11後藤がファウルでフリースローをもらい、落ち着いて2本を決める。終了間際、AFBB#32大野が3ポイントシュートを決めるが届かず、74-73で紀陽銀行勝利。